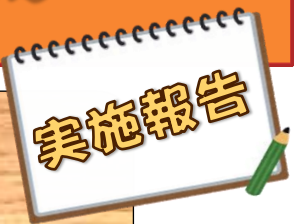


第5回 子どもの心の中は見えますか？

～親の心子知らず 子の心親知らず～



【日時】平成28年11月12日(土) 10時～12時
【場所】湯田地域交流センター なんでも学習ホール
【講師】西佐波保育園 園長 渡辺 二美子 氏
【受講生】大人20人(興味のある方)

子どもの心の中って見えますか？ ふつうは見えません。
子どもの心が分からないから、「どうしてそんなことするの?!」と
イライラしてしまうんです。
子どもがこの時期にこういう成長をするということが分かれば、
少しは対応が楽になるのではないのでしょうか。



子どもの育つ時期

子どもには、『この時期にしか育たない』という時期があります。
もちろん、その時期を過ぎてしまったからと言って、取り返しがつかないということはありませんが、鉄が熱いうちでないと形が変わらないように、その時期だから育つということがあるのです。
そのある時期に、子どもを育てる4つの種を植えておくと、それがいずれ社会を生き抜く力に成長します。



産まれるとき

予定日ぴったりに産まれた赤ちゃんって、あまりいません。それは赤ちゃんが子宮から出たくなった時に産まれてくるからです。赤ちゃんの準備ができないと外に出られないのです。
赤ちゃんは産まれるとき、必死に生きようとして、お母さんの力を借りて自分で出てきます。



産まれたばかりの赤ちゃん…無限大の可能性を秘めています。
その力を引き出せるかどうかは周りの環境次第。

子どもを育てる4つの種

子どもが一番やりたい時期にやらせてあげること=心に種をまくこと



愛情の種

◆種をまく時期：0歳のころ

◆愛情…抱っこ、声掛け、目を見て授乳する、撫でるなどで表現しましょう。

赤ちゃんはみんな抱っこが大好きです。泣く理由の約50%は抱っこを求めています。

◆大切なこと…愛情表現をして赤ちゃんに愛着関係、信頼関係を築きましょう。

◆愛情袋…赤ちゃんが受け取った愛情をためる巾着袋。1歳を過ぎたころに口を閉じて種になります。

※赤ちゃんの時にもらった愛を一生使います。

※愛されていないければ人を愛せない。情緒が安定しません。



種がなければ

愛情は育ちません。

ちょっと成長が遅いかも？と思ったときは

- ・焦らなくても大丈夫！赤ちゃんの準備ができれば、自然とできるようになります。
- ・赤ちゃんは自分を認めてくれる人を求めています。「すごい！」と認めてあげましょう。
- ・ちいさな「できた！」が赤ちゃんを励まします。「まだ〇〇ができない…」ではなく、「今日は△△ができたね！」と褒めてあげましょう。
- ・つかまり立ちをするための机や棚がないなど、環境が整っていないければきっかけが掴めません。赤ちゃんの周りの環境を確認してみましょう。

生活習慣の種

◆種をまく時期：1、2歳のころ

◆生活習慣…大きく食事・睡眠・着脱・清潔・排泄の5つの柱に分けることができます。

◆大切なこと…生活習慣に興味を持って、何でも自分でやりたがるようになります。

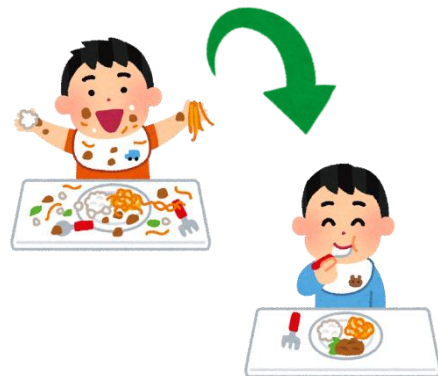
生活習慣は、親やお友達などの身近な人がやっていることを見て覚えます。

一緒に練習して、自分で出来るようになります。

◆注意すること…自分でやりたい気持ちが強いので、親が手伝うと「僕がやるんだっただのに！」と怒ってしまうこともあります。

🌱 食事…自分の力で食べられるようになるための種

- ① 手づかみ⇒自分で食べようとする意欲の表れ
- ② スプーンを使い始める
- ③ 下からスプーンが持てる
- ④ 箸を挿んで使える
- ⑤ スプーンを大人と同じように持てる
- ⑥ 箸を上手に使える



※自分で食べようとしているときにずっと「あーん」と食べさせていると…



だんだん自分で食べなくなる。やっていないことは面倒くさがるようになる。
こぼしても片づけるところを見せて（清潔の種）、上手に食べる練習をしましょう。

🌱 着脱…自分で着替えられるようになるための種

- ・脱ぐ → 着る の順に興味を持ち、少しずつできるようになります。
- ・「こうやって脱ぐのよ。」と脱ぎ方を教えてあげましょう。
- ・着脱を始めるころは脱ぎやすい服を着せてあげてください。きっちりした服や堅い服では脱ぎにくいです。（下の子ほど服がゆるいので、脱ぐのが得意な傾向にある。）
- ・脱いだら片づけることも合わせて教えてあげましょう。

排泄…トイレで排泄できるようになるための種

- 排泄に興味が出てきたら、トイレについて来たり便器の中を覗いたりするようになります。
- 「うーん！」とふんばる子はおまるに連れて行けばOK!
- 「ウンチ出たね。」「ばななウンチだ！お利口さんだね。」など褒めてあげましょう。
- 少しずつ、「ウンチやおしっこはトイレです。」ということをおしえていきましょう。
- ずっとオムツはやめて、パンツに慣れるようにしてあげましょう。



自分らしさの種

- ◆種をまく時期：3歳のころ
- ◆自分らしさ…自分の気持ち（これが好き、あれがやりたいなど）が分かってくるころです。
子どもの気持ち=その子らしさ
- ◆大切なこと…分かってあげる行動で、子どもの思いを認めてあげましょう。
子どもは思いを認めてもらうと「うん。」と頷きます。
子どもに「うん。」と頷かせて、心の中を正常化してあげましょう。
- ◆注意すること…自分のしたいことをしようとするので、親には『言うことを聞かない子』に見えますが、子どもは自分の思いを分かってほしいと思っています。

※分かってあげる行動は心の中を正常化します。

↳（「〇〇がしたかったんだね。」「すごいね！」「悲しかったね…」など）
誰でも相手に自分の気持ちを分かってもらえると心が軽くなるものです。

親の言うことを聞かない！というときは

- ① 分かってあげる行動で子どもの思い、やっていることを認めてあげる。
- ② 子どもが「うん。」と頷いてから、『なぜやってはいけないのか』『今やらなければいけないことは何か』『〇〇をしてから続きをしよう』などを話す。

という風にしてみましょう。



◎もし、子どもの思いを認めてあげなかったら

自分の心が分からない、何でも親の言いなりになる子どもに育ってしまうかも…

人間関係の種

- ◆種をまく時期：4～6歳のころ
- ◆人間関係…家庭での役割が人間関係の第一歩。
子どもは家庭と同じような関係を友達と築きます。
友達と心を合わせて頑張る、足りないところを補い合うということも覚えていきます。
- ◆大切なこと…社会で生き抜けるように、すてきな人間関係を見せてあげてください。
勘違いさせない環境を作りましょう。

ハンバーグの話

『いつもお母さんたちの分も食べるAちゃん』と『自分のハンバーグだけを食べるBちゃん』

【保育園に行くとCちゃんがブロックで大きなお家を作っていました。】

- Aちゃん「作ったのはCちゃんだけど、これは僕のだよ。」 → 欲しいと思ったものは全部もらえると勘違いしてしまいます。
- Bちゃん「Cちゃんすごい！僕も一緒にやっっていい？」 → 自分の物と人の物が分かる。「貸して！」「一緒にやろう。」が言えるようになります。

リレーの話

『走るのが苦手なDちゃん』と一緒にチームになりました。

- 家庭で「何事も勝った方がいい。」「上手な方がいい。」という対応をしていると…
「Dちゃんがいるから負けちゃう。」「Dちゃんと別のチームがいい!」とDちゃんを責めてしまいます。

Dちゃんが遅いなら、みんながもっと速く走ればいいし、Dちゃんが走っているときは一生懸命応援してあげればきっと負けないよ!



1位ではなかったけれど、「ゴールできた!」「みんなで力を合わせて走りきった!」という達成感でハイタッチ!

渡辺先生からメッセージ

- ☆子どもは今まで練習していないことは面倒くさがってやらなくなってしまいます。
生きる力を育てるために、子どもがやりたがっていることをやらせてあげましょう。
- ☆子どものいいなりになることと、やりたいことをやらせてあげることは違います。
過保護になりすぎないように気を付けましょう。
- ☆子どもの育ちのための環境を整えてあげましょう。
- ☆小さなことでも、何かができるようになったらしっかり褒めてあげましょう。
- ☆愛情が多すぎるということはありません。たくさん愛情を注いで育ててあげましょう。
- ☆「うん。」と頷くところを持っていくことが大切です。子どもの心を正常化してあげましょう。
- ☆集団生活は家庭から始まります。子どもが社会に出ても生き抜けるように、よい人間関係を見せてあげましょう。
- ☆勝ち負けはジャンケンなどで楽しく覚えましょう。
- ☆4つの種を植えるのに適した時期はあるけれど、遅すぎるということはありません。
子どもの心が柔らかいうちに、種を植えてあげてください。



講座の様子から

約1時間半の間、分かり易い事例を交えながら子どもの心の発達についてお話していただきました。

また、その時期に親がとるべき対応について、子どもの心に植える4つの種についてのお話もしていただき、受講生の方は熱心にメモを取りながら聞いていらっしゃいました。

真剣に先生のお話に関心をもち、しきりに頷きながらも、時折笑い声があがる明るい講座になりました。

最後の質問コーナーでは皆さんの質問に対し、回答をいただくとともに熱心にアドバイスをしてくださいました。

アンケートにもたくさんの感想が寄せられました。



受講生の方からの ご意見・ご感想

一部ご紹介

☆ハンバーグのお話が、とても心に残りました。子どもとの関わりの中でいろいろな悩みがありますが、勘違いする環境を与えてしまっていたのだとおもいました。今気が付くことができてよかったです。家庭の役割が集団の一步…。心に留めて今後の家族のコミュニケーションをとっていきたいと思います。参加して本当に良かったです。

☆年齢に応じた4つの種を知ることができてよかった。今からでも遅くないと思うので、意識して実践していきたいと思う。

☆これからの子育てにとっても役に立ちました。ありがとうございました。

☆とても為になるお話で、今までの講座で一番良かったです。話もテンポよく、2時間があっという間でした。

☆分かり易い例を交えてのお話に共感できたり、気づかせていただいたりすることがたくさんありました。一番心に残ったのは「うん。」という頷きを引き出すということです。本当に大切なことですね。なかなか出来ていないことだったので早速やってみます。

☆4つの種の話はとても参考になりました。上の子は小学生ですが、その子に『どれだけの種を蒔いて上げただろうか』『タイミングは…』など、自分の子育ての反省をしました。これから社会に出るために、愛情や生きるために必要なことを教えていきたいと思います。

☆お話はとても楽しく、例がたくさんあったので分かり易かったです。子どものしていることを中断させる際の声掛けなど、いろいろ実践していきたいと思います。



御協力ありがとうございました

